

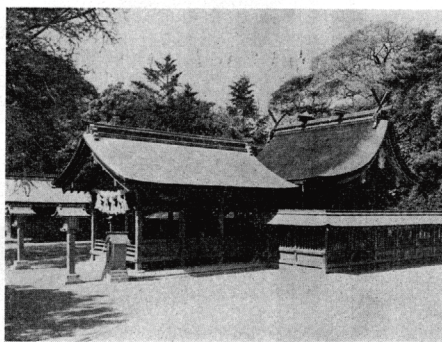
沖津宮、中津宮の新年

— 絶海の孤島、沖ノ島の初日、沖津宮 漁民の島、筑前大島の初日、中津宮 —

宗像大社は、九州と朝鮮半島を「つらぎ」の海に結ぶ玄界灘の真中に位置する沖ノ島の三社を総して宗像大社と島に沖津宮、宗像に中津宮、申し上げます。



沖津宮



中津宮

宗像大社は、九州と朝鮮半島を「つらぎ」の海に結ぶ玄界灘の真中に位置する沖ノ島の三社を総して宗像大社と島に沖津宮、宗像に中津宮、申し上げます。

沖津宮 絶海の孤島沖津島、輝かき初日を拜つて、昭和五十八年

沖津島初日ついで海面にまきし我身水の冷たき

沖津島初日ついで海面にまきし我身水の冷たき

沖津島初日ついで海面にまきし我身水の冷たき

沖津島初日ついで海面にまきし我身水の冷たき

沖津島初日ついで海面にまきし我身水の冷たき

沖津島初日ついで海面にまきし我身水の冷たき

沖津島初日ついで海面にまきし我身水の冷たき

沖津島初日ついで海面にまきし我身水の冷たき

沖津島初日ついで海面にまきし我身水の冷たき

沖津島初日ついで海面にまきし我身水の冷たき

沖津島初日ついで海面にまきし我身水の冷たき

沖津島初日ついで海面にまきし我身水の冷たき

第二十九回文化財防火デー

文化財防火演習行なわる



一月二十五日(火)午前十時 本殿南西裏雑木林からの出火を想定、会員所定の行動を取り、十分後に火災の計画で、文化財防火デーの消火演習を行なう。

火災発生と同時に火災報知の緊急事態発生を知らせ、機内放送によって全職員に火災発生を知らせ、機内放送の類焼を防ぎ、速やかに消火を促すべく各客室に消火器の取扱いを説明し、消火活動には、玄海消防団第一分団の消防車出動による放水活動もあつた。

一月二十五日(火)午後十時、防犯隊長宇都宮司の総指揮のもと、息の合った活動で、消火演習も終り、消火器の取り扱い実習、防火設備の総検を行なう。

一月二十五日(火)午後十時、防犯隊長宇都宮司の総指揮のもと、息の合った活動で、消火演習も終り、消火器の取り扱い実習、防火設備の総検を行なう。

一月二十五日(火)午後十時、防犯隊長宇都宮司の総指揮のもと、息の合った活動で、消火演習も終り、消火器の取り扱い実習、防火設備の総検を行なう。

一月二十五日(火)午後十時、防犯隊長宇都宮司の総指揮のもと、息の合った活動で、消火演習も終り、消火器の取り扱い実習、防火設備の総検を行なう。

一月二十五日(火)午後十時、防犯隊長宇都宮司の総指揮のもと、息の合った活動で、消火演習も終り、消火器の取り扱い実習、防火設備の総検を行なう。

一月二十五日(火)午後十時、防犯隊長宇都宮司の総指揮のもと、息の合った活動で、消火演習も終り、消火器の取り扱い実習、防火設備の総検を行なう。

中津宮

中津宮 祭典後、鏡開き盛大に行なわる

中津宮 祭典後、鏡開き盛大に行なわる

中津宮 祭典後、鏡開き盛大に行なわる

中津宮 祭典後、鏡開き盛大に行なわる

中津宮 祭典後、鏡開き盛大に行なわる

中津宮 祭典後、鏡開き盛大に行なわる

中津宮 祭典後、鏡開き盛大に行なわる

中津宮 祭典後、鏡開き盛大に行なわる

中津宮 祭典後、鏡開き盛大に行なわる

中津宮 祭典後、鏡開き盛大に行なわる

中津宮 祭典後、鏡開き盛大に行なわる

中津宮 祭典後、鏡開き盛大に行なわる

中津宮 祭典後、鏡開き盛大に行なわる

中津宮 祭典後、鏡開き盛大に行なわる

中津宮 祭典後、鏡開き盛大に行なわる

中津宮 祭典後、鏡開き盛大に行なわる

中津宮 祭典後、鏡開き盛大に行なわる

古神札焼納祭

古神札焼納祭 宗像大社 始まる

古神札焼納祭 宗像大社 始まる

古神札焼納祭 宗像大社 始まる

古神札焼納祭 宗像大社 始まる

古神札焼納祭 宗像大社 始まる

古神札焼納祭 宗像大社 始まる

古神札焼納祭 宗像大社 始まる

古神札焼納祭 宗像大社 始まる

古神札焼納祭 宗像大社 始まる

古神札焼納祭 宗像大社 始まる

古神札焼納祭 宗像大社 始まる

「七五三」「菊」写真コンテスト

入賞者は祈願殿二階に展示

去る十月十六日(日曜日)午前十時第三回宗像大社七五三写真コンテストの表彰式が、当大社祈願殿二階に於て行なわれた。

入賞者は祈願殿二階に展示

去る十月十六日(日曜日)午前十時第三回宗像大社七五三写真コンテストの表彰式が、当大社祈願殿二階に於て行なわれた。

入賞者は祈願殿二階に展示

去る十月十六日(日曜日)午前十時第三回宗像大社七五三写真コンテストの表彰式が、当大社祈願殿二階に於て行なわれた。

入賞者は祈願殿二階に展示

入賞者は祈願殿二階に展示

宗像路に健脚を競う

― 県下より五〇〇人参加、宗像マラソン、成人式を祝い、玄海町駅伝大会 ―



宗像マラソン大会

第千六百回宗像マラソン大会(宗像、郡体育会、西日本新聞社主催、宗像大会後援)が、初野の人々に賑わう二月十日(日)開かれた。

選手役員、新選段前に無事故を願って授けを受けた後、宗像大が大幅遅延を来し、五キロ口エキの四開に分かれ行なわれた。

冬とは思われぬ好天に恵まれ、県下より約五百人が参加、玄海町の宗像路に健脚を競った。成績は次の通りです。

- 中学生の部(出場二七三名)
- 一位 関内 孝二(霧戸)
- 二位 三浦 隆一(霧戸)
- 三位 原 浩二(牟田山)
- 四位 高橋 邦(出場四十四名)
- 五位 丹生 和則(霧戸)
- 六位 大五十五(霧戸)
- 七位 菊武 寿美(九州)
- 八位 西川 隆(西宮)
- 九位 西川 隆(西宮)
- 十位 西村 明雄(福大)

一般学部の部(出場九十九名)

- 一位 柳田 慎二(花成)
- 二位 青柳 哲也(古賀)
- 三位 有吉 保雄(福岡)
- 四位 西村 明雄(福大)
- 五位 西村 明雄(福大)
- 六位 西村 明雄(福大)
- 七位 西村 明雄(福大)
- 八位 西村 明雄(福大)
- 九位 西村 明雄(福大)
- 十位 西村 明雄(福大)

二月十五日、各地で成人式が行なわれたが、地元玄海町でもB&G玄海海洋センターにおいて盛大に行なわれた。

同日は、二八名の新成人が誕生し祝福を受けた。

成人式後、新成人は神様の宗像大社へ参詣する人が相次ぎ、境内は、善初宴ではなやかで盛開愛に満ちた。



一月十五日、各地で成人式が行なわれたが、地元玄海町でもB&G玄海海洋センターにおいて盛大に行なわれた。

同日は、二八名の新成人が誕生し祝福を受けた。

成人式後、新成人は神様の宗像大社へ参詣する人が相次ぎ、境内は、善初宴ではなやかで盛開愛に満ちた。

当日は祭日なので、初詣の人も多く見られた。

宗像青年会議所 創立五周年記念講演 (終)

宗像青年会議所 創立五周年記念講演 (終)

“深めよう地域の和 ひろげようJ.C.の気概”

宗像青年会議所 理事長 井上征夫



懐かしい一九八八年が明けた。梅の花を季節を迎えましたが、今年も外は安穏静かな混同とした年の暮、安閑な静寂に思われます。

宗像青年会議所は、一九六五年郷土出身の大先輩より「宗像の青年日本人の中心」として、宗像青年会議所を創設し、宗像青年会議所の発展を願う。宗像青年会議所の発展を願う。

宗像青年会議所 創立五周年記念講演 (終)

宗像青年会議所 創立五周年記念講演 (終)

新成人の参拝つづく

一月十五日、各地で成人式が行なわれたが、地元玄海町でもB&G玄海海洋センターにおいて盛大に行なわれた。

深めよう地域の和 ひろげようJ.C.の気概

宗像青年会議所 理事長 井上征夫



宗像青年会議所 創立五周年記念講演 (終)

深めよう地域の和 ひろげようJ.C.の気概

宗像青年会議所 理事長 井上征夫

